

# 令和5年度 第2回佐倉市行政評価懇話会

## 議事次第

日 時：令和5年10月30日（月）14時00分～

会 場：佐倉市役所1号館3階会議室

### 1 開 会

### 2 議 事

#### （1）基本施策評価についての担当課質疑

- ・基本施策2-1「都市計画・公共交通」
- ・基本施策2-3「道路環境」

#### （2）新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について

### 3 閉会

---

#### 【資 料】

- 資料1 《令和5年度評価対象》【重点目標4】計画的な施設インフラ整備の推進、持続可能な財政運営
- 資料2 基本施策評価シート（2-1都市計画・公共交通）
- 資料3 基本施策評価シート（2-3道路環境）
- 資料4-1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について
- 資料4-2 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業実績一覧

#### 【参 考】

- ・令和4年度 主要施策の成果の説明書（抜粋）
- ・令和4年度における各基本施策の進捗状況 ※前回配布資料

≪令和5年度評価対象≫

■【重点目標4】計画的な施設インフラ整備の推進、持続可能な財政運営

重点指標名	指標担当課	単位	初期値 (実績値)	令和4年度				最終目標 値 (R5)	目標達成に向けての取組み ※近年新規に取り組んだものは、 【R4新規】のように記入	目標値に達しなかった場合の 要因	今後の改善策・方向性	章	章名称	基本施策名称	基本施策取り まとめ担当課
				目標値	実績値	達成率	評価								
公共交通が利用しやすいと思う市民の割合	都市計画課	%	28.5%	32.0%	38.6%	目標達成	A	32.0%	・【R4新規】日常生活の移動手段の確保、交流人口の増加と目的とした「城下町周辺地区循環バス」の運行社会実験を実施	-	・引き続きコミュニティバスをはじめ地域公共交通への施策を講じることにより、市民が公共交通機関の利用しやすさを実感できる施策の実施に取り組んでまいります。	第2章	人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）	2-1 都市計画・公共交通	都市計画課
都市計画道路・幹線道路の用地取得面積	道路建設課	m <sup>2</sup>	-	34,600m <sup>2</sup>	10,856m <sup>2</sup>	31.4%	C	47,760m <sup>2</sup> (期間累計)	・国の交付金活用 ・地権者ごとの用地交渉	・交付金の交付決定額が要望額を大きく下回ったことで、用地補償費が減少し取得しようとしていた面積も減少したため。	・引き続き、地権者に対し交渉を続けてまいります。	第2章	人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）	2-3 道路環境	道路建設課
道路の舗装改修延長	道路維持課	km	-	12km	1.42km	11.8%	C	L=16km (期間累計)	・財政当局と計画通りの施工延長を実施するための協議	・国の交付金の配分が少なかったためです。	・一部繰越事業にて対応中です。 ・引き続き、交付金等の活用を図り、予算の確保に努めてまいります。	第2章	人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）	2-3 道路環境	道路建設課
経常収支比率	財政課	%	98.3%(2017年度) (類似団体(IV-3)の 平均値 92.6%)	類似団体(IV-3)の 平均値+1%	類似団体(IV-3)の 平均値 -1.5% (佐倉市 平均値 87.9%、平均 値89.4%)	目標達成	A	類似団体(IV-3)の 平均値 以下	・事務事業の見直しや予算執行の厳格化などを行い、経常的な経費の圧縮に努めています。 ※実績値について 指標報告時点では令和4年度決算数値が出ていないため、実績値は令和3年度の数値としています。	-	・今後も引き続き、事務事業の見直しや予算執行の厳格化などを通じ経常経費の圧縮に努めていきます。	第5章	市民とともに創る多様性のある持続可能なまち（市民参加・自治体運営）	5-5 行財政運営	行政管理課
市税収入率	債権管理課	%	94.2%	94.7%	95.8%	目標達成	A	94.8%	・【R3新規】スマホ決済による市税納付開始（R3.4月～） ・【R3新規】納税案内センター開設による徴収体制強化（R3.7月～）	-	・納税案内センターの体制充実や、eL-QR開始による納付方法拡充などにより、さらなる徴収体制の強化に努めます。	第5章	市民とともに創る多様性のある持続可能なまち（市民参加・自治体運営）	5-5 行財政運営	行政管理課
市民一人当たりの公共施設面積	資産経営課	m <sup>2</sup>	2.03m <sup>2</sup>	2.03m <sup>2</sup>	2.12m <sup>2</sup>	初期値以下	D	2.03m <sup>2</sup>	・【R3新規】公共施設再配置の検討のため庁内に会議を設置 ・【R4新規】公共施設等総合管理計画の改訂 ・【R4新規】市民向けシンポジウムの開催	・佐倉図書館の竣工により保有面積が増加したことに加え、人口の減少が進んだことにより、市民一人当たりの面積が増加しました。	・適正な保有量を目指すため、公共施設再配置の検討を進めるため、第三者検討委員会の設置や大学との共同研究を行います。	第5章	市民とともに創る多様性のある持続可能なまち（市民参加・自治体運営）	5-6 資産管理	資産経営課

第5次佐倉市総合計画 前期基本計画 基本施策評価シート <2-1 都市計画・公共交通>

【資料2】

基本方針		2:人と自然が調和した安心して暮らせるまち(都市基盤・住環境)	基本 施策名	1. 都市計画・公共交通	評価年度			
					令和4年度			
12年後の目指す姿		都市と農村が公共交通で結ばれ、利便性・快適さ・豊かな自然を享受できる暮らしやすいまちを目指します。	施策に係るコスト (千円)	取りまとめ推進課	都市計画課			
4年間の取組 (施策の内容)				関係課	自治人権推進課・市街地整備課			
12年後の目指す姿				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
12年後の目指す姿				262,196	298,994	292,666	—	
4年間の取組 (施策の内容)		適正な土地利用の推進や、地域を結ぶ公共交通ネットワークの形成、地域の個性を活かした景観形成を図っていくことで、利便性と快適さ、豊かな自然を誰もが享受できるまちづくりを推進します。						
施策の評価		評価(A~E)	(施策の総括・成果)					
施策の評価		<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市マスタープランや地域公共交通網形成計画等に基づき、人と自然が調和した安心して暮らせるまちづくりの推進に取り組みました。</li> <li>・成果指標「佐倉市の人口」は、初期値を下回りましたが、少子高齢化の進展及び急速な人口減少等の全国的要因等によりやむを得ないものと判断します。</li> <li>・「景観推進事業」について、目標値を下回りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント事業の縮小や外出の自粛等により佐倉市の景観資源にふれる機会の減少が一因と思われます。</li> </ul>					
新規又は重点的に行った取組み <small>※近年新規に取り組んだものは【R4新規】のように記入</small>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・【R4新規】関係法令の改正、上位計画の改定などを踏まえ、立地適正化計画の見直しに向けた調査分析を行いました。</li> <li>・【R4新規】日常生活の移動手段の確保、交流人口の増加と目的とした「城下町周辺地区循環バス」の運行社会実験を開始しました。</li> </ul>		今後の改善策・方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりや景観に対する関心・理解を高めるため、都市計画や景観に関する情報発信や愛着と誇りをもてるまちづくりを継続的に行う必要があります。</li> <li>・市民の利便性を確保するとともに、持続可能な公共交通のあり方について検討を進めていく必要があります。</li> </ul>			
成果指標の進捗状況①		指標名	初期値	達成状況				
成果指標の進捗状況①		佐倉市の人口	175,476人 (H31.3月末)	目標値	176,819人 (R3.3月末)	176,624人 (R4.3月末)	176,416人 (R5.3月末)	175,999人 (R6.3月末)
成果指標の進捗状況①				実績	173,216人	171,747人	171,031人	—
成果指標の進捗状況①				(都市計画課)	達成率	初期値以下 D	初期値以下 D	初期値以下 D
目標値の考え方・根拠		第1期人口ビジョン(平成27年)の目標人口の達成を目指します。 達成率：(実績値-初期値) / (目標値-初期値) × 100						
目標値達成に向けての取組 <small>※近年新規に取り組んだものは【R4新規】のように記入</small>		【R4新規】 ・定住人口の維持、交流人口の増加など選ばれるまちづくりに向け、平成29年3月に策定した「佐倉市立地適正化計画」の改定に向けた取組を推進するため、調査・分析を行いました。						
目標値を達成しなかった要因		少子高齢化の進展が一因と考えられます。		今後の改善策・方向性	今回策定した当該マスタープラン及び総合計画等に基づき、誰もが「都市の便利さ」と「農村の豊かな自然」を併せて享受できる持続可能なまちづくりを推進してまいります。			
成果指標の進捗状況②		指標名	初期値	達成状況				
成果指標の進捗状況②		公共交通が利用しやすいと思う市民の割合	28.5%	目標値	30.0%	30.0%	32.0%	32.0%
成果指標の進捗状況②				実績	33.8%	27.2%	38.6%	—
成果指標の進捗状況②				(都市計画課)	達成率	目標達成 A	初期値以下 D	目標達成 A
目標値の考え方・根拠		市民意識調査による。地域公共交通への施策を講じることにより、利用しやすいと思う市民の割合の増加を目指す。 達成率：(実績値-初期値) / (目標値-初期値) × 100						
目標値達成に向けての取組 <small>※近年新規に取り組んだものは【R4新規】のように記入</small>		【R4新規】日常生活の移動手段の確保、交流人口の増加と目的とした「城下町周辺地区循環バス」の運行社会実験を実施						
目標値を達成しなかった要因		—		今後の改善策・方向性	引き続きコミュニティバスをはじめ地域公共交通への施策を講じることにより、市民が公共交通機関の利用しやすさを実感できる施策の実施に取り組んでまいります。			
成果指標の進捗状況③		指標名	初期値	達成状況				
成果指標の進捗状況③		景観が良好と感じる市民の割合	58.5%	目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
成果指標の進捗状況③				実績	62.7%	60.0%	58.7%	—
成果指標の進捗状況③				(都市計画課)	達成率	目標達成 A	目標達成 A	13.3% C
目標値の考え方・根拠		市民意識調査において景観が良好と感じる市民の割合(「思う」「どちらかというと思う」)。前期基本計画の目標値である60%を各年度の目標値として設定。 達成率：(実績値-初期値) / (目標値-初期値) × 100						
目標値達成に向けての取組 <small>※近年新規に取り組んだものは【R4新規】のように記入</small>		・市民や事業者への佐倉市景観計画の周知を行いました。						
目標値を達成しなかった要因		・新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント事業の縮小や外出の自粛等により佐倉市の景観資源にふれる機会の減少が一因と思われます。		今後の改善策・方向性	良好な景観形成を図るため、引き続き、当該計画の周知等を図ってまいります。			
施策内の主な事務事業		<b>施策1 都市と農村が共生するまちづくりを計画的に推進します</b> (市街地整備課) 宅地開発指導事業、(都市計画課) 都市計画推進事業 <b>施策2 持続可能な公共交通網の形成を推進します</b> (都市計画課) 地域公共交通対策事業 <b>施策3 景観形成による愛着と誇りを持てるまちづくりを推進します</b> (都市計画課) 景観推進事業						

第5次佐倉市総合計画 前期基本計画 基本施策評価シート 《2-3道路環境》

【資料3】

基本方針		2:人と自然が調和した安心して暮らせるまち(都市基盤・住環境)	基本 施策名	3. 道路環境		評価年度				
						令和4年度				
12年後の目指す姿		円滑な都市活動を支える安全で快適な道路環境の形成を目指します。また、市道が適切に保全され、安全・安心な道路環境が形成されているまちを目指します。	施策に係るコスト (千円)	取得と推進課		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
4年間の取組 (施策の内容)				将来を展望した体系的・効果的な都市計画道路等の整備を推進します。また、幹線道路や生活道路、橋梁の計画的な改修や維持・補修に努め、安全性の確保・向上を図ります。	関係課		1,028,691	792,563	852,338	—
施策の評価		評価(A~E)	(施策の総括・成果)							
		C	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全安心して利用できる道路を維持するため、国費を活用して計画的な補修や整備を行っており、拡幅等の改良工事を1路線実施しました。舗装改修工事を1路線明許繰越にて実施してまいります。</li> <li>新設道路に伴う用地買取については、令和4年度は2,442㎡の用地を取得でき、累計で目標値34,600㎡に対し実績が10,854㎡となり、達成率は31.4%でした。</li> </ul>							
新規又は重点的に行った取組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>国費の市町村間流用や追加補正等、機会を捉え積極的に国費の要望を行いました。</li> <li>通学路の緊急一斉点検に基づき、危険個所の対策工事を実施しました。</li> </ul>		今後の改善策・方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の交付金や補助金の積極的な活用を図り、予算の確保に努めます。</li> <li>幹線道路等における歩行者や自転車の安全対策について、限られた道路用地内で早期効果が発現できるように検討します。</li> </ul>					
成果指標の進捗状況①		指標名	初期値	達成状況						
		都市計画道路・幹線道路の用地取得面積  (道路建設課)	—	目標値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
				実績	8,450㎡ (累計)	21,720㎡ (累計)	34,600㎡ (累計)	47,760㎡ (累計)		
				達成率	63.3%	C	38.7%	C	31.4%	C
目標値の考え方・根拠		都市計画道路や幹線道路の整備に伴い、取得する道路用地の面積 達成率：実績値/目標値 × 100								
目標値達成に向けての取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>国の交付金活用</li> <li>地権者ごとの用地交渉</li> </ul>								
目標値を達成しなかった要因		<ul style="list-style-type: none"> <li>交付金の交付決定額が要望額を大きく下回ったことで、用地補償費が減少し取得しようとしていた面積も減少したため。</li> </ul>		今後の改善策・方向性	引き続き、地権者に対し交渉を続けてまいります。					
成果指標の進捗状況②		指標名	初期値	達成状況						
		道路の舗装改修延長  (道路維持課)	—	目標値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
				実績	4km (累計)	8km (累計)	12km (累計)	16km (累計)		
				達成率	16.0%	C	17.8%	C	11.8%	C
目標値の考え方・根拠		破損している道路を計画的に改修した延長。年間4キロメートルの整備を目標値として設定。 達成率：実績値/目標値 × 100								
目標値達成に向けての取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>財政当局と計画通りの施工延長を実施するための協議</li> </ul>								
目標値を達成しなかった要因		<ul style="list-style-type: none"> <li>国の交付金の配分が少なかったためです。</li> </ul>		今後の改善策・方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部繰越事業にて対応中です。</li> <li>引き続き、交付金等の活用を図り、予算の確保に努めてまいります。</li> </ul>					
施策内の主な事務事業		<b>施策1 快適な道路の整備を推進します</b> (道路建設課) 幹線道路整備事業、岩富・寺崎線道路改良事業(市道1-23号線)、3・4・5井野・酒々井線外1路線道路改良事業 <b>施策2 安全・安心な道路環境を保全します</b> (道路維持課) 交通安全施設維持管理事業、道路維持管理事業								

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について  
(令和4年度)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(以下「コロナ交付金」)は、感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や市民生活を支援し、地方創生を図ることを目的として、令和2年度に創設された国の臨時交付金です。

令和4年度は、佐倉市に交付された約10億8千万円を活用し、「感染拡大の防止」、「新しい生活様式の推進」、「生活者支援」、「事業者支援・経済の活性化」「物価高騰対策」に係る以下の54事業を実施しました。

■令和4年度 コロナ交付金活用事業

(1) 感染拡大の防止

(単位:円)

No	事業の分類	総事業費	コロナ交付金充当	事業概要
1~9	トイレ洋式化改修等(9事業)	38,161,882	32,469,209	西志津ふれあいセンター、志津コミュニティセンター、和田コミュニティセンター、公園、佐倉市立青少年体育館、公衆トイレ(京成佐倉駅北口・佐倉駅南口、学童保育所(4施設)、保健センター(健康管理センター・西部・南部)、佐倉城南幼稚園
10~12	網戸の設置等(3事業)	2,045,450	1,939,049	さくらんぼ園、千代田・染井野ふれあいセンター、根郷公民館
13	空調設置(1事業)	1,838,100	1,742,486	佐倉学童保育所
14~15	障害福祉施設・介護老人福祉施設等が実施するPCR・抗原検査等への支援(2事業)	41,803,065	39,628,551	PCR・抗原検査への支援、感染者発生施設への支援金交付
16~18	抗原検査キット等の配布(3事業)	11,802,391	11,047,204	公立幼稚園、小中学校、保育園・公共施設・介護施設・障害者施設
19	消毒液等購入(1事業)	5,801,549	2,722,177	PCR等検査(高齢者施設新規入居者)、消耗品等購入
20	新型コロナウイルスワクチン接種対策(1事業)	46,413,944	43,978,934	ワクチン接種を行う医療機関に対し協力金を給付
20事業		147,866,381	133,527,610	

(2) 新しい生活様式の推進

No	事業名	総事業費	コロナ交付金充当	事業概要
21	市議会ICT化推進事業	14,205,282	13,466,351	議会棟Wi-Fi環境整備、タブレット端末購入(議員等)
22	市民相談等オンライン化事業	268,378	254,417	市民相談室にオンライン環境を整備
23	行政情報化推進事業(コロナ対策分)	5,952,639	5,642,994	Web会議、電子決裁を行う環境を整備
24	電子自治体推進事業(コロナ対策分)	12,100,000	11,470,582	公共施設14施設にフリーWi-Fiの回線を整備
25	シニア世代デジタル講座事業	126,720	120,128	シニア世代対象スマホ講座を開催
26	美術館施設改修事業(コロナ対策分)	1,944,676	1,843,518	Wi-Fi環境整備等
6事業		34,597,695	32,797,990	

(3) 生活者支援

No	事業名	総事業費	コロナ交付金充当	事業概要
27	男女平等参画推進センター事業(コロナ対策分)	566,940	269,170	「女性のための法律相談」の実施
28	善意銀行応援事業	1,273,231	1,207,000	佐倉市社会福祉協議会に食品等を提供
29	高齢者いきいき応援事業	7,322,309	6,941,417	75歳以上の方に食事利用券(1,000円/人)を送付
30	子ども支援施策推進事業(コロナ対策分)	1,358,090	1,287,445	子育て支援講座の開催
31	出産・子育て応援事業	75,853,962	11,662,238	妊娠届出時と出生届出後面談時に各5万円を給付
5事業		86,374,532	21,367,270	

(4) 事業者支援・経済の活性化

No	事業名	総事業費	コロナ交付金充当	事業概要
32	公共交通継続支援事業	22,456,200	21,288,072	公共交通事業者に対し事業維持・継続の支援、二種免許取得費用負担分の助成、高齢者向け定期乗車バス等の割引販売補助を実施
33	中小企業事業再構築支援事業	1,941,500	1,840,507	事業再構築に向けた計画策定等のコンサルティング経費等の支援
34	市内消費喚起事業	42,673,165	40,453,390	「飲食店レポートキャンペーン」の実施
35	マイクロツーリズム推進事業	9,830,269	8,385,212	ひよどり坂の整備、教育旅行体験プログラム・観光パンフレットの作成
4事業		76,901,134	71,967,181	

(5) 物価高騰対策

No	事業名	総事業費	コロナ交付金充当	事業概要
【市民全般】				
36	水道事業会計への繰出経費(コロナ対策分)	161,694,359	100,072,943	市内水道使用者の2カ月分の基本料金相当額を減免
37	下水道事業会計への繰出経費(コロナ対策分)	156,853,805	115,786,570	市内下水道使用者の2カ月分の基本料金相当額を減免
【子育て世帯】				
38~41	給食費無償化(3か月分) ・市立幼・小・中学校給食費補助事業 ・第3子以降学校給食費補助事業 ・民間保育園等給食費補助事業 ・保育園管理運営事業	205,771,359	181,081,736	市立小中学校・幼稚園、民間保育園等、私立幼稚園等、市立保育園
42~46	給食用食材費高騰分の支援 ・学校給食物価高騰対策支援事業 ・民間保育園等助成事業(コロナ対策分) ・私立幼稚園助成事業(コロナ対策分) ・保育園管理運営事業(コロナ対策分) ・認可外保育施設利用者・運営助成事業	35,319,288	21,858,431	市立小中学校・幼稚園、民間保育園等、私立幼稚園等
47	子ども食堂支援事業	747,411	708,532	子ども食堂等に「佐倉市子ども食堂活動継続支援金」を交付
48	子育て世帯生活支援特別給付金支給事業(市独自給付分)	16,955,408	10,438,431	国の給付金の対象とならない低所得の子育て世帯に対し、児童1人につき5万円を支給
【事業者】				
49	障害福祉施設等物価高騰対策支援金支給事業	16,624,000	15,739,003	障害福祉施設等に物価高騰対策の支援金を支給
50	介護施設等物価高騰対策支援金支給事業	60,287,714	57,078,231	介護施設等に物価高騰対策の支援金を支給
51	産後ケア事業者物価高騰対策支援金支給事業	81,000	76,688	産後ケア事業者に物価高騰対策の支援金を支給
52	肥料価格高騰緊急対策事業	21,318,000	20,209,079	市内農業者に肥料価格高騰相当額を支給
53	市内中小店舗キャッシュレス推進応援事業	153,648,120	145,590,299	市内中小店舗対象にポイント付与とキャンペーン(30%)を実施
【生活困窮者】				
54	住民税均等割のみ課税世帯への応援金給付事業	241,282,196	149,330,006	臨時特別給付金の支給対象外である、令和4年度住民税均等割のみ課税世帯に対し、10万円を支給
19事業		1,070,582,660	817,969,949	

まとめ(総合評価)

令和3年度に引き続き、コロナ交付金を活用し、「感染拡大の防止」をはじめ、「新しい生活様式の推進」、「生活者支援」等の幅広い支援を実施するとともに、新たに物価高騰に対する支援を実施し、それぞれの目的に寄与する成果を挙げる事ができました。特に物価高騰に対する支援では、広く市民に届く支援、並びに国や県が行う支援を受けてもなお、日常生活や事業継続に多くの困難を来たす市民(生活者)や市内事業者を対象とする支援を行う事ができました。

## 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	予算事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	対象事業費				一般財源	主な実績等	実績指標	担当所属名
			対象事業費	コロナ交付金充当額	国庫補助額(コロナ除く)	その他				
1	西志津ふれあいセンターコロナ対策施設改修事業	①飛沫拡散防止による新型コロナウイルス感染症対策として、和便器から有蓋洋便器に改修する。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、換気ができるよう網戸を設置する。 ②西志津ふれあいセンタートイレの和便器から洋便器への改修費及び網戸設置改修費	3,623,400	3,372,351	0	0	251,049	(1)新型コロナウイルス感染症の飛沫拡散防止対策として、トイレの和便器を有蓋洋便器に改修しました。 ・トイレ洋式化改修 2基 (2)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、部屋の換気ができるよう網戸を設置しました。 ・網戸設置箇所数 2箇所	・和式便器の洋式化基数 2基 ・網戸設置箇所数 2箇所	自治人権推進課
2	志津コミュニティセンターコロナ対策施設改修事業	①飛沫拡散防止による新型コロナウイルス感染症対策として、和便器から有蓋洋便器に改修する。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いの自動水洗化を行う。 ②志津コミュニティセンタートイレ改修費及び自動水洗化改修費	2,376,000	2,252,405	0	0	123,595	新型コロナウイルス感染症の飛沫拡散防止対策として、トイレの和便器を有蓋洋便器に改修しました。 ・トイレ洋式化改修 2基 ・自動水洗化改修 10か所	・和式便器の洋式化基数 2基 ・手動水栓の自動化箇所数 10箇所	志津コミュニティセンター
3	和田コミュニティセンターコロナ対策施設改修事業	①飛沫拡散防止による新型コロナウイルス感染症対策として、和便器から蓋付き洋便器に改修する。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多目的トイレ自動ドアの改修を行う。 ②和田コミュニティセンタートイレ改修費(洋便器への改修)及び多目的トイレの自動ドア改修費	2,125,200	2,014,651	0	0	110,549	新型コロナウイルス感染症の飛沫拡散防止対策として、トイレの和便器を蓋付き洋便器に改修しました。また、多目的トイレの自動ドアを非接触型センサーに変更したことにより、施設の衛生環境が大きく向上し、利用者が安心して施設を利用できるように寄与しました。 ・洋便器化への改修基数:2基 ・多目的トイレの自動ドア改修箇所数:1箇所	・和便器の洋便器化基数 2基 ・多目的トイレの自動ドア整備箇所数 1箇所	和田ふるさと館
4	公園感染防止対策事業	①飛沫拡散防止による新型コロナウイルス感染症対策として、公園トイレを和式便器から有蓋洋式便器に改修する。 ②公園トイレの和式便器の有蓋洋式便器への改修費用	11,354,200	10,763,577	0	0	590,623	新型コロナウイルス感染症の飛沫拡散防止対策として、公園トイレの和式便器を洋式化(有蓋洋式便器)へ改修しました。 ・和式便器を洋式化した公園数、基数:11公園、25基 ・設置率:100%(設置箇所数/対象箇所)	・和式便器の洋式化11公園、25基 ・トイレを有する市内公園の洋式便器設置率 100%	公園緑地課
5	スポーツ施設整備事業(コロナ対策分)	①飛沫拡散防止による新型コロナウイルス感染症対策として、和便器を有蓋洋便器に改修を行う。 ②佐倉市立青少年体育館の和式トイレ3基(男性1基、女性2基)の洋式化改修工事	1,069,970	1,014,312	0	0	55,658	新型コロナウイルス感染症の飛沫拡散防止対策として、佐倉市立青少年体育館の和式トイレ3基を洋式化しました。 ・男性用1基、女性用2基	和式便器の洋式化基数 3基	生涯スポーツ課
6	公衆トイレ洋式化事業(コロナ対策分)	①飛沫拡散防止による新型コロナウイルス感染症対策として、和便器を有蓋洋便器に改修を行う。 ②京成佐倉駅北口及びJR佐倉駅南口公衆トイレの和式便器洋式化改修工事費	931,150	882,713	0	0	48,437	新型コロナウイルス感染症の飛沫拡散防止対策として、京成佐倉駅北口及びJR佐倉駅南口公衆トイレの和便器を有蓋洋便器へ改修しました。 ・京成佐倉駅 1基 ・JR佐倉駅 1基	公衆トイレの和式便器の洋式化基数 2基	生活環境課
7	学童保育所等施設整備事業(コロナ対策分)	①飛沫拡散防止による新型コロナウイルス感染症対策として、和便器から有蓋洋便器に改修する。 ②学童保育所、児童センタートイレの和便器から洋便器への改修費	5,270,422	4,787,762	0	0	482,660	新型コロナウイルス感染症の飛沫拡散防止対策として、学童保育所及び児童センター内トイレの和便器を有蓋洋便器へ改修しました。 ・上志津学童保育所(2基) ・北志津児童センター学童保育所(4基) ・臼井老幼の館学童保育所(3基) ・南部児童センター(2基)	・和式便器の洋式化を行った施設数 4施設 ・和式便器の洋式化基数 11基	こども保育課
8	保健センター整備事業(コロナ対策分)	①飛沫拡散防止、非接触化、換気促進による新型コロナウイルス感染症対策として、和便器を有蓋洋便器に改修、手動水栓の自動水栓化、窓の改修を行う。 ② ・健康管理センター:和便器9か所を洋便器改修経費 西部保健センター:和便器2か所を洋便器改修経費 ・手動水栓18か所を自動水栓化に係る経費 健康管理センター:13か所 南部保健センター:5か所 ・窓工事21か所を開閉できるように工事する。 西部保健C:19か所 南部保健C:2か所	8,834,540	6,567,121	0	0	2,267,419	飛沫拡散防止、非接触化、換気促進による新型コロナウイルス感染症対策として、保健センター内トイレの和便器を有蓋洋便器に改修、手動水栓の自動水栓化の改修、開閉式窓の改修を行いました。 ・便器改修(健康管理センター9基、西部保健センター2基) ・自動水栓改修(健康管理センター13箇所、南部保健センター5箇所) ・窓改修(西部保健センター19箇所、南部保健センター2箇所)	各保健センターにおける・和式便器の洋式化基数 11基 ・手動水栓を自動化箇所数 18箇所 ・窓改修箇所数 21箇所	健康推進課

## 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	予算事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	対象事業費	コロナ交付金充当額				主な実績等	実績指標	担当所属名
				コロナ交付金充当額	国庫補助額 (コロナ除く)	その他	一般財源			
9	民間保育園等施設整備助成事業	①学校法人丸和学園が運営する市内の幼稚園型認定こども園佐倉城南幼稚園の老朽化したトイレ(湿式)を洋式化・乾式化し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、及び衛生面の向上を図る。 ②佐倉城南幼稚園トイレ衛生化工事のうち、保育所等整備交付金(感染症対策のための改修整備事業)の対象となる保育所部分に係るもの。	2,577,000	814,317	1,718,000	0	44,683	新型コロナウイルス感染症対策のため、幼稚園型認定こども園(佐倉城南幼稚園)が実施するトイレの乾式化、洋式化工事の整備に係る費用を助成しました。	トイレ乾式化を行う幼稚園型認定こども園支援件数 1件	こども政策課
10	さくらんぼ園コロナ対策施設改修事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止として、療育中に恒常的な換気を要するため療育室及び保育室に網戸を設置する。 ②さくらんぼ園の網戸設置に係る経費	188,100	178,315	0	0	9,785	療育室及び保育室に網戸を設置し、換気を行いやすい環境を整備することで、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止しました。 ・網戸設置箇所 4箇所	網戸設置箇所数 4箇所	障害福祉課
11	千代田・染井野ふれあいセンターコロナ対策施設改修事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、換気ができるよう網戸を設置する。 ②千代田・染井野ふれあいセンター会議室の網戸設置費	579,700	549,545	0	0	30,155	網戸が設置されていない窓に、網戸を設置し、換気を行いやすい環境を整備することで、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止しました。 ・網戸の設置箇所16箇所	網戸設置箇所数 16箇所	千代田・染井野ふれあいセンター
12	根郷公民館コロナ対策施設改修事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る窓換気を行うため、古く開閉困難な窓の鍵の改修、網戸の設置を行う。 ②根郷公民館の窓の鍵・網戸改修に係る経費	1,277,650	1,211,189	0	0	66,461	新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る窓換気を行うため、古く開閉困難な窓の鍵の改修、網戸の設置を行いました。 ・窓の改修 19箇所 ・網戸の設置 29箇所	窓の改修箇所数 19箇所 網戸の設置箇所数 29箇所	根郷公民館
13	学童保育所施設整備事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止として、恒常的な換気を要するため、学童保育所に空調設備を設置する。 ②佐倉学童保育所の空調設置に係る経費	1,838,100	1,742,486	0	0	95,614	新型コロナウイルス感染症拡大防止として、恒常的な換気を要するため、佐倉学童保育所に空調設備を設置しました。	空調設置箇所数 1箇所	こども保育課
14	新型コロナウイルス感染症緊急支援事業(障害福祉サービス分)	①障害福祉施設等職員が任意で受検したPCR検査等の費用を補助し、新型コロナウイルス感染症予防と施設等の安定的な運営を図る。また、感染者が発生した施設に支援金を支給し、サービスの継続を支援する。 ② (1)対象施設に勤務する従事者が、行政検査によらず施設の判断により任意で受検した検査(PCR、抗原)に係る経費 (2)感染者が発生した入所施設において感染下で勤務した従事者の処遇改善経費等を支援金として支給。	5,338,154	5,060,474	0	0	277,680	障害福祉施設等の新型コロナウイルス感染症予防と施設の安定的な運営を図るため、PCR・抗原検査に要する経費及び感染者が発生した施設に勤務した従事者の処遇改善経費等を支援しました。 ・PCR・抗原検査の支援 6法人19事業所(受検回数 延べ2,252回)に交付 ・感染者発生施設への支援金 6法人6事業所に交付	・当該補助事業による支援施設数 25施設 ・感染者が発生し感染対応支援金を活用した施設の割合 50%	障害福祉課
15	新型コロナウイルス感染症緊急支援事業(介護サービス分)	①介護老人福祉施設等職員が任意で受検したPCR検査等の費用を補助し、新型コロナウイルス感染症予防と施設等の安定的な運営を図る。また、感染者が発生した施設に支援金を支給し、サービスの継続を支援する。 ② (1)対象施設に勤務する従事者が、行政検査によらず施設の判断により任意で受検した検査(PCR、抗原)に係る経費 (2)感染者が発生した入所施設において感染下で勤務した従事者の処遇改善経費等を支援金として支給 (3)会計年度任用職員の人件費3か月分	36,464,911	34,568,077	0	0	1,896,834	介護老人福祉施設等の新型コロナウイルス感染症予防と施設の安定的な運営を図るため、PCR・抗原検査に要する経費及び感染者が発生した施設に勤務した従事者の処遇改善経費を支援しました。 ・PCR・抗原検査の支援 25法人49事業所(受検回数 延べ17,742回)に交付 ・感染者発生施設への支援金 13法人17事業所に交付	・当該補助事業による支援事業所数 57事業所 ・機能停止せず業務継続できた事業所の割合 100%	介護保険課
16	抗原検査キット等配布事業(幼稚園分)	①幼稚園の教職員の新型コロナウイルス感染症対策を行い、業務継続による社会機能維持を図る。 ②抗原定性検査キット、感染対策消耗品	76,691	36,678	0	38,000	2,013	感染拡大を未然に防ぐため、抗原定性検査キットや消耗品を公立幼稚園に配布し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めました。	機能停止せず業務継続できた幼稚園の割合 100%	指導課
17	抗原検査キット等配布事業(小中学校分)	①小中学校の教職員の新型コロナウイルス感染症対策を行い、業務継続による社会機能維持を図る。 ②抗原定性検査キット	223,850	106,980	111,000	0	5,870	感染拡大を未然に防ぐため、抗原定性検査キットを小中学校に配布し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めました。	機能停止せず業務継続できた小中学校の割合 100%	指導課

## 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	予算事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	対象事業費	コロナ交付金充当額			一般財源	主な実績等	実績指標	担当所属名
				コロナ交付金充当額	国庫補助額 (コロナ除く)	その他				
18	抗原検査キット等配布事業	①保育園や公共施設の職員、介護施設、障害者施設の入所者等の新型コロナウイルス感染症対策として、抗原検査キット及び感染防護物品(ガウン、マスク、フェイスシールド等)を購入・配布し、業務継続による社会機能維持を図る。 ②抗原検査キット及び感染防護物品(ガウン、フェイスシールド、マスク等)の購入費	11,501,850	10,903,546	0	0	598,304	保育園や公共施設の職員、介護施設、障害者施設の入所者等の新型コロナウイルス感染症対策として、抗原検査キット及び感染防護物品(ガウン、マスク、フェイスシールド等)を購入・配布し、業務継続による社会機能維持を図りました。 【配布数】 ・抗原検査キット7,801個 ・N95マスク3,590枚 ・ガウン3,710着 ・フェイスシールド2,064枚 ・手袋218,800枚 ・不織布マスク210,000枚	機能停止せず業務継続できた公共施設の割合 100%	健康推進課
19	健康危機対策事業	①適切な感染防止対策を講じるため、公共施設で使用する消毒用エタノール等を購入する。また、新型コロナウイルス患者と接触したが濃厚接触者とされなかった者、また、高齢者施設等への新規入所者で希望者に対し、PCR等検査を行う。 ②感染防止対策とし、消毒用エタノール等を購入し、各施設へ配布する。また、検査対象となる者に対し、委託にて実施する。	5,801,549	2,722,177	0	2,930,000	149,372	適切な感染防止対策を講じるため、公共施設で使用する消毒用エタノール等を購入しました。また、高齢者施設等への新規入所者で希望者に対し、PCR等検査を行いました。 ・消毒用エタノール等配布先:本庁、出先機関 60か所 ・PCR等検査実施人数:1人	市の感染症対策の不備に起因するクラスター発生件数 0件	健康推進課
20	新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	①新型コロナウイルスワクチン接種を行う医療機関に対し協力を支給し、接種体制の強化、希望する市民が接種できる体制構築を図る。 ②ワクチン接種を行う医療機関に対する協力金 (1)接種期間で最も多く接種した月の接種数に応じた協力金 (2)小児の接種を行う医療機関に対し接種数に応じた協力金	46,413,944	43,978,934	0	0	2,435,010	新型コロナウイルスワクチン接種を行う医療機関に対し協力を支給することで、接種体制の強化を図り、希望する市民が接種できる体制を構築しました。 ■接種医療機関協力金…一定期間中、最も接種数の多い月の接種数に応じて協力を支出。 ●3回目、4回目(2月～9月)…65医療機関 41,300,000円 1人～99人:10万円(13か所) 100人～499人:50万円(36か所) 500人～999人:100万円(10か所) 1,000人以上:200万円(6か所) ■6歳～11歳への接種についての協力金…1人当たり726円を追加で支払う。 ●小児加算(2022.3月～2023.3月)…8医療機関 5,113,944円	当該協力金により支援した医療機関 65箇所	健康推進課
21	市議会ICT化推進事業	①会議資料等の電子データ化を推進し、コロナ禍等、非常時における会議形態の一つとしてオンラインによる方法を確保する ②オンライン会議等の実施に係るタブレット端末の購入及び議会棟のWi-Fi設置工事、クラウド型文書共有システムの導入。	14,205,282	13,466,351	0	0	738,931	コロナ禍等、非常時においてもオンラインの方法により会議を実施するため、タブレット端末を購入し、併せて議会棟にWi-Fi環境を整備しました。また、ペーパーレス会議を実施するため、文書共有システムを導入しました。 ・タブレット端末購入台数:34台 (議員28台、議会事務局3台、予備機3台) ・会議室におけるWi-Fiの整備率:100% (議場、委員会室、会派室)	オンライン会議に対応できる議員の割合 100%	議会事務局
22	市民相談等オンライン化事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に、非接触での相談を可能とするため、オンライン環境を整備する。 ②LANケーブルを相談室等に設置(延長)し、オンライン相談に必要な機材を購入する。また、飛沫の飛散防止・換気を行いながらのオンライン相談をするためパーティションを購入する。	268,378	254,417	0	0	13,961	非接触での相談を可能とするため、LANケーブルを相談室等に設置(延長)し、ネットワーク環境を整備しました。また、オンライン相談に必要な機材及び会場での飛沫の飛散防止のためのパーティションを購入しました。	ミレニアムセンター内オンライン相談環境整備箇所数 1か所	自治人権推進課

## 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	予算事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	対象事業費	コロナ交付金充当額			一般財源	主な実績等	実績指標	担当所属名
				コロナ交付金充当額	国庫補助額 (コロナ除く)	その他				
23	行政情報化推進事業(コロナ対策分)	①感染症対策及びポストコロナに向けた働き方として、人の接触の減少やペーパーレスを推進するため、Web会議や電子決裁を行う環境を庁内に整備する。 ② (1)Web会議用機器等の整備費 (2)決裁・審査を行う職員の事務用パソコンに24型ディスプレイを増設(210台)する経費	5,952,639	5,642,994	0	0	309,645	(1)新型コロナウイルス感染症対策及びペーパーレスを推進するため、65型ディスプレイを6箇所に設置し、Web会議の利用やペーパーレスに寄与しました。 (設置場所) ・1号館6階第一会議室 ・1号館6階第二会議室 ・1号館3階会議室 ・議会棟参与室 ・議会棟会議室 ・社会福祉センター地下会議室 (2)主に決裁・審査を行う職員の事務用パソコンについて、24型ディスプレイを増設し、電子決裁や資料確認時のペーパーレスに寄与しました。 ・整備台数 210台 ・整備率 100%	・Web会議用機器整備個所数 6箇所 ・行政文書の電子決裁率 28%	情報システム課
24	電子自治体推進事業(コロナ対策分)	①新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン等を活用した非接触型の社会教育活動、市民活動、学習等を推進するため、公民館、コミュニティ施設、図書館に市民がWi-Fiを利用できる環境を整備する。 ②公共施設14施設(公民館6館、コミュニティー施設6館、図書館2館)における回線敷設工事、機器調達・設置等に係る経費	12,100,000	11,470,582	0	0	629,418	公共施設14施設にフリーWi-Fiの回線を整備することで、コロナ禍でも市民の方が安心して、オンラインを活用した市民活動や教育等の事業を実施することができました。 (設置場所) 中央公民館、志津公民館、臼井公民館、根郷公民館、和田公民館、弥富公民館、志津コミュニティセンター、和田ふるさと館、ミレニアムセンター佐倉、千代田・染井野ふれあいセンター、西志津ふれあいセンター、市民公益活動サポートセンター、志津図書館、佐倉南図書館	Wi-Fiを設置した施設数 14施設 設置基数 72基(うち予備1基)	情報システム課
25	シニア世代デジタル講座事業	①スマートフォンを活用した非接触型の情報収集やコミュニケーション、スマホ決済等に係る知識の取得を促進し、高齢者のコロナ感染症予防を推進するため、各公民館でシニア世代対象スマホ講座を開催する。 ②スマホ講座開催に係る経費(6公民館×各2回=12回)	126,720	120,128	0	0	6,592	スマートフォンを活用した非接触型の情報収集やコミュニケーション、スマホ決済等に係る知識の取得を促進し、高齢者のコロナ感染症予防を推進するため、各公民館でシニア世代対象スマホ講座を1開催しました。 ・スマホ講座開催回数 12回 ・参加者数 87人	・スマホ講座開催回数 12回 ・参加者数 87人	中央公民館
26	美術館施設改修事業(コロナ対策分)	①市立美術館における新型コロナウイルス感染症対策に係る施設改修等を行い、感染拡大を防止するとともに、来館者の安全・安心の確保を図る。 ・小中学校の芸術学習を来館により行ってきたが、密にならない学習機会として、オンライン講座ができる環境を整備する。 ・大きく重い扉を小さな扉に改修し、入口と出口を区分して動線をつくり、来館者の密を防止する。 ・消毒に不向きな布製おむつ交換台を消毒しやすいビニール製のものに取り換える。 ②オンライン環境整備、ガラス扉改修、ビニール製おむつ交換台	1,944,676	1,843,518	0	0	101,158	(1)Wi-Fi環境整備 4階、3階ホワイエ部分にWi-Fi環境が整備したことにより、安定的にオンラインによる講座を開催できるようになり、密にならない学習機会を提供することができるようになりました。 (2)ガラス扉改修 美術館南側の大きく重い扉を小さな扉に改修したことにより、出入りが容易となり、来館者が密にならない導線を確保することができました。 (3)おむつ交換台 ・消毒に不向きな布製おむつ交換台を消毒しやすいビニール製のものに取り換えたことにより、日常的にオムツ交換台を消毒することができるようになり、感染症対策をより厳密に行うことができるようになりました。	市立美術館におけるクラスター発生件数 0件	美術館
27	男女平等参画推進センター事業(コロナ対策分)	①新型コロナウイルス感染症の影響等により様々な不安・困難を抱える女性を支援するため、法律相談や生理用品の提供を行う。 ②当該相談事業等を実施する男女平等参画推進センター指定管理者への委託料	566,940	269,170	283,000	0	14,770	男女平等参画推進センターにおいて、女性弁護士による「女性のための法律相談」を実施しました。また、相談事業の一環として、必要としている女性に生理用品を提供しました。 ・相談実施回数:6回 ・相談者数:12人	相談者数 12人	自治人権推進課
28	善意銀行応援事業	①コロナ禍の影響を受けている生活困窮者を支援するため、「善意銀行事業」(食糧支援等)を行う佐倉市社会福祉協議会にレトルト食品等の提供を行う。 ②佐倉市社会福祉協議会に提供する食材、物品等購入費	1,273,231	1,207,000	0	0	66,231	善意銀行事業を実施する佐倉市社会福祉協議会に食品等を提供し、生活困窮者への支援に寄与しました。 ・提供物品:食品(レトルト、缶詰等)893,745円分 ・食品用袋1,850枚 ・コンテナ式食品管理棚1基	善意銀行利用者数 571人 (R3 598人)	社会福祉課

## 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	予算事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	対象事業費	コロナ交付金充当額			一般財源	主な実績等	実績指標	担当所属名
				コロナ交付金充当額	国庫補助額 (コロナ除く)	その他				
29	高齢者いきいき応援事業	①コロナ禍での外出控えや閉じこもりによる高齢者の心身機能の低下を防止し、高齢者の健康増進を図る。 ②健康づくり情報紙、食事利用券(「No.29市内消費喚起事業」で発行する割引券)等の発送に係る経費	7,322,309	6,941,417	0	0	380,892	新型コロナウイルス感染症拡大により、高齢者が外出を控え心身機能が低下することを防止するため、75歳以上の高齢者に市内飲食店で使える食事利用券(1,000円/人)及びフレイル予防と高齢者福祉に関する啓発パンフレットを送付し、外出支援及び介護予防につなげました。 ・送付対象者数:31,646人 ・食事利用券使用枚数:46,852枚	75歳以上の高齢者に対し、介護予防やフレイルに関する印刷物及び市内飲食店で使用できる食事利用券を配布。 ・食事利用券使用枚数 46,852枚	高齢者福祉課
30	子ども支援施策推進事業(コロナ対策分)	①子育て支援講座の開催や、安心して外出できる環境整備を行うことで、コロナ禍で子育て世代が抱えるストレスや不安を緩和し、子育て環境の向上を図る。 ②子育て講座開催、移動式赤ちゃん休憩室(テント)に係る経費	1,358,090	1,287,445	0	0	70,645	子育て講座を開催することで、子育て世代がコロナ禍で抱える不安やストレスの軽減、緩和に寄与しました。また、移動式赤ちゃん休憩室用テントを購入し、子育て世代が安心して外出できる環境を整備しました。 ・講座開催数:4回 ・テント整備数:2基	・子育て講座の参加者アンケートで満足度95% ・移動式赤ちゃん休憩室用テント整備基數2基	こども政策課
31	出産・子育て応援事業	①コロナ禍が長引く状況下、妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、伴走型相談支援と経済的支援(給付金の支給)を一体的に実施する。 ②伴走型支援及び経済的支援に係る経費(地方負担分1/6)	75,853,962	11,662,238	50,433,000	12,435,000	1,323,724	妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、伴走型相談支援と経済的支援(給付金の支給)を一体的に実施しました。 ・伴走型相談支援:妊娠届出時面談、妊娠7か月頃のアンケート・産前産後支援サービスの情報提供、妊娠8か月電話支援、出生後のこにちは赤ちゃん訪問等 ・経済的支援:給付金支給人数:1,478人	①伴走型支援の対象となる妊婦への相談実施率100% ②経済的支援の対象となる妊婦及び子の養育者への給付率83.9%	母子保健課
32	公共交通継続支援事業	①新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、利用者・売上が減少している公共交通事業者へ支援金を支給し、地域公共交通の維持・継続を図る。また、事業者の事業継続支援・雇用創出支援として、公共交通事業者の継続的な乗務員確保の支援を行う。更に、利用者が落ち込んだ公共交通利用者の回復、バスの利用促進のため、定額乗車バスの割引販売に対して補助を行う。 ②路線数・車両数等に応じた支援金、交通事業者が従業員の二種免許取得(普通・大型)に負担した教習等の費用への補助、路線バスの年間バスの割引販売に要する経費の補助。	22,456,200	21,288,072	0	0	1,168,128	(1)コロナ禍において利用者が大きく減少した公共交通事業者に対し、事業の維持・継続を支援しました。 ・市内を通る路線バス:1路線25万円(6者) ・市内に本店及び営業所を有する貸切バス:1台5万円(3者) ・市内に営業所を有するタクシー:1台5万円(17者) ・市内で完結する鉄道:1路線100万円(1者) (2)乗務員確保への支援として、大型・普通二種免許取得費用の事業者負担分について助成しました。 ・対象 市内営業所を有する路線バス事業者、タクシー事業者 ・助成金額 事業者が負担した二種免許取得費用の1/2 上限:(大型)30万円/人・(普通)10万円/人、件数:大型3人、普通11人 (3)公共交通の利用促進として、高齢者向け定額乗車バス等の割引販売への助成を行いました。 ・対象 定額乗車バス等の割引販売を実施する市内路線バス事業者、市内で完結する鉄道事業者 ・助成金額 上限:通常販売額の1/2 助成件数:2者(販売数 394件)	当該補助事業により支援した事業者数22社	都市計画課
33	中小企業事業再構築支援事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大や収束後の状況に対応するため、業態の転換や販路の拡大等のための事業計画の策定や、各種補助金申請にあたり、専門家の支援を受けた際にかかる費用の補助を行う。 ② (1)今後に向けた販促計画をはじめとする、事業再構築に向けた事業計画の策定のための相談料・コンサルティング経費等 (2)各種補助金等の申請にあたって専門家の支援等を受けた際の費用	1,941,500	1,840,507	0	0	100,993	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内中小企業の支援として、業態の転換や販路の拡大等のための事業計画の策定や、各種補助金申請にあたり、専門家の支援を受けた事業者15件に対し、補助を行いました。	当該補助事業により支援した事業者の専門家活用に係る満足度 72.7%	商工振興課

## 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	予算事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	対象事業費	コロナ交付金充当額			一般財源	主な実績等	実績指標	担当所属名
				コロナ交付金充当額	国庫補助額 (コロナ除く)	その他				
34	市内消費喚起事業	①コロナ禍の影響を受けている市内飲食店等を支援し、市内経済の活性化を図るため、飲食店等の利用客に対して同一店舗で次回来店時に使えるスクラッチカードを配布し、飲食店のリピート利用と客単価の増加を促す。 ②飲食店リピート利用促進事業に係る委託料	42,673,165	40,453,390	0	0	2,219,775	(1)スクラッチカード 飲食店の利用客に対して、同一店舗で次回来店時に割引券として使えるスクラッチカードを配布するキャンペーンを実施し、新型コロナウイルスの影響を受けている飲食店のリピート利用と客単価の増加を促しました。 ・実施期間:令和4年10月1日～5年1月31日 ・対象事業者:佐倉市内で飲食店を営む事業者(大手チェーン店を除く、テイクアウト・宅配含む) ・参加店舗数 168店 (2)高齢者食事利用券 高齢者の外出等健康づくりを目的に、75歳以上のかたに1,000円分の食事利用券を配布しました。 ・食事利用券はスクラッチ参加店舗で使用可能。 (3)Wチャンスプレゼント スクラッチキャンペーンの利用促進のため、地元産品が当たるWチャンス企画を実施しました。	リピートキャンペーン参加店舗の満足度 94.4%	商工振興課
35	マイクロツーリズム推進事業	①コロナ禍においてニーズが高まるマイクロツーリズムを推進し、激減した観光客の回復を図る。 ②チラシ・パンフ等印刷、景観整備、教育旅行等体験プログラム作成、観光案内所委託料・コロナ対策等	9,830,269	8,385,212	0	0	1,445,057	コロナ禍において激減した観光客の回復を図るため、観光パンフレットの作成やひよどり坂の整備、、教育旅行体験プログラムの作成などを行いました。  ・観光チラシ・パンフ等印刷(2種類・計24,000部) ・観光情報誌への広告掲載(3誌) ・教育旅行等体験プログラム調査・作成委託 ・臼井観光案内所委託 ・スタンド型温度計・消毒器購入(6基)	観光入り込み客数 1,433,462人(前年比113%) (R3 1,264,835人 H31 1,773,323人)	佐倉の魅力推進課
36	水道事業会計への繰出経費(コロナ対策分)	①コロナ禍・物価高騰の影響を受けている生活者の経済負担を軽減するため、市内水道料金を支援する。 ②市内水道利用者の2ヶ月分の基本料金相当額(令和5年2月及び3月調定分)(※公共施設は対象から除く。)	161,694,359	100,072,943	0	0	61,621,416	新型コロナウイルス感染症に伴う物価高騰の影響を受けている市民生活の負担を軽減するため、市内水道利用者の2ヶ月分の基本料金相当額を減免するための経費を水道事業会計に補助しました。 ・支援対象:市内水道利用者 ・対象件数:73,082件	当該補助事業により支援した使用者 73,082世帯(件)	企画政策課
37	下水道事業会計への繰出経費(コロナ対策分)通常	①コロナ禍・物価高騰の影響を受けている生活者の経済負担を軽減するため、市内下水道料金を支援する。 ②市内下水道利用者の2ヶ月分の基本料金相当額(令和5年2月及び3月調定分)(※公共施設は対象から除く。)	156,853,805	115,786,570	0	0	41,067,235	新型コロナウイルス感染症に伴う物価高騰の影響を受けている市民生活の負担を軽減するため、市内下水道利用者の2ヶ月分の基本料金相当額を減免するための経費を下水道事業会計に補助しました。 ・支援対象:市内下水道利用者 ・対象件数:69,849件	当該補助事業により支援した使用者 69,849世帯(件)	企画政策課
38	市立幼・小・中学校給食費補助事業	①コロナ禍・価格高騰の影響を受ける子育て世帯の経済負担を軽減するため、市立幼稚園、小中学校の給食費を一定期間減免する。(多子世帯の給食費支援(No.48)は別事業による) ② ・市立幼稚園・小中学校の令和5年1～3月分の給食費相当分の学校長への補助 ・給食を停止している児童等の保護者への給食費相当額補助	153,957,321	145,761,234	0	0	8,196,087	コロナ禍・価格高騰の影響を受けている子育て世帯に対し、他の制度による給食費の給付を受けていない市立小中学校・幼稚園在籍者の給食費を無償化することで、経済的負担の軽減を図りました ・支給金額 令和5年1月～3月の給食費相当額 ・支給対象 小学校23校、中学校11校、幼稚園1園及びアレルギー等対応者453名、佐倉幼稚園在園児26名	当該補助事業により支援した幼稚園2園、園児数30人 小学校23校、児童数6531人 中学校11校、生徒数3698人	指導課
39	第3子以降学校給食費補助事業	①コロナ禍・価格高騰の影響を受ける子育て世帯(多子世帯)の経済負担を軽減するため、給食費負担を一定期間減免する。 ②扶養している子のうち、第3子以降の佐倉市立小中学校在籍者の令和5年1～3月分給食費の補助(千葉県費補助(1/2)あり)	16,359,558	8,390,750	0	7,497,000	471,808	コロナ禍・価格高騰の影響を受けている多子世帯に対し、扶養している第3子以降の市立小中学校在籍者の給食費相当額の補助を行うことで、経済的負担の軽減を図りました。 ・支給金額 令和5年1月から3月の給食費相当額 ・支給児童・生徒数 1099人	当該補助事業により支援した児童数821人、生徒数278人	指導課

## 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	予算事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	対象事業費	コロナ交付金充当額				主な実績等	実績指標	担当所属名
				コロナ交付金充当額	国庫補助額 (コロナ除く)	その他	一般財源			
40	民間保育園等給食費補助事業	①コロナ禍・価格高騰の影響を受ける子育て世帯の経済負担を軽減するため、民間保育園、幼稚園等の給食費相当分を一定期間補助する。 ② ・民間保育園等の令和5年1月～3月分の給食費相当分に係る園及び保護者に対する補助 ・同期間、特別な事情により給食を食べていない園児の保護者に対する給食費相当額補助	35,454,480	21,954,508	0	0	13,499,972	コロナ禍・価格高騰の影響を受ける子育て世帯の経済負担を軽減するため、民間保育園、私立幼稚園等に、給食費相当額(3か月分)を補助しました。 ・補助対象者: 市内の民間保育園、私立幼稚園等 市内の民間保育園、私立幼稚園等に在園し、特別な事情で給食を食べていない園児の保護者 市外の民間保育園、私立幼稚園等の市内在住園児の保護者 ・補助額 35,454,480円 ・補助人数 2,457人	当該補助事業により支援した施設数68園、園児数2,457人	こども政策課
41	保育園管理運営事業	①コロナ禍・価格高騰の影響を受ける子育て世帯の経済負担を軽減するため、市立保育園の給食費を一定期間減免する。 ②市立保育園の令和5年1月～3月分の給食費減免に係る経費、保護者に対する給食費相当額補助	0	4,975,244	0	△ 5,255,000	279,756	コロナ禍・価格高騰の影響を受ける子育て世帯の経済負担を軽減するため、市立保育園の給食費を一定期間減免しました。 ・対象:市立保育園及び各園に通う児童園児とその保護者(教職員は除く) ・補助金額:3か月延べ1051名×5,000円=5,255,000円	当該補助事業により支援した施設数7園、園児数延べ1051人	こども保育課
42	学校給食物価高騰対策支援事業	①コロナ禍における物価高騰により影響をうける学校給食会計の支援を行い、保護者が負担する給食費の値上げを防ぐことを目的とする。 ②市立小中学校、幼稚園の給食用食材費の高騰分(5%)を給食会計へ給付	24,430,000	15,119,773	0	0	9,310,227	コロナ禍における物価高騰により影響を受けている学校給食会計に給食用食材の高騰分に係る交付金を交付し、保護者負担の軽減を図りました。 ・支給金額 令和4年7月から令和5年3月までの給食食材の物価高騰相当分(5%) ・支給対象 小学校23校、中学校11校、公立幼稚園1園	・当該補助事業により支援した学校数、児童・生徒数 小学校23校7,827人、中学校11校4,074人、幼稚園1園4人	指導課
43	民間保育園等助成事業(コロナ対策分)	①コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けた民間保育園等の給食等の質・量を確保し、従前の保護者負担を維持するため、給食用食材費の高騰分を支援する。 ②民間保育園給食用食材費の高騰分(5%)	7,122,000	4,407,077	0	0	2,714,923	新型コロナウイルスの影響で食材等の価格が高騰していることから、民間保育園等に対し給食用食材費の高騰分に係る交付金を交付し、保護者負担の軽減を図りました。 ・支援対象:市内民間保育園等37園 ・支給金額:月初日に在園している児童1人当たり月額300円 ・事業実施期間:令和4年7月～令和5年3月(9か月) ・支援率:93.4%(支援延べ人数23,740人/想定25,416人)	当該補助事業により支援した施設数37施設、園児数2637人(延べ23,740人)	こども政策課
44	私立幼稚園助成事業(コロナ対策分)	①コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けた私立幼稚園(5園)給食の質・量を確保するため、給食用食材費の高騰分を支援する。 ②私立幼稚園給食用食材費の高騰分(5%)	2,264,220	1,401,330	0	0	862,890	私立幼稚園に対して補助金を交付し、従前の給食費(保護者負担)を維持しながら給食等の質・量を確保し、令和4年7月～令和5年3月分の保護者負担の軽減を図りました。 ・対象:市内私立幼稚園5園 ・補助金額:270円(私立幼稚園の給食費月額平均値(5,400円)×5%)×8か月延べ8386人=2,264,220円	当該補助事業により支援した施設数、5園、園児数延べ8386人	こども保育課
45	保育園管理運営事業(コロナ対策分)	①コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けた公立保育園(7園)給食の質・量確保に係る園児の保護者負担(給食費増額等)の軽減を図るため、賄材料費の高騰分を増額する。 ②保育園給食用食材費の高騰分(5%)	1,491,308	922,973	0	0	568,335	コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けた公立保育園(7園)に対し、給食の質・量確保に係る園児の保護者負担(給食費増額等)の軽減を図るため、賄材料費の高騰分(5%)を支援しました。	当該補助事業により支援した施設数7園、園児数638人	こども保育課
46	認可外保育施設利用者・運営助成事業(コロナ対策分)	①コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けた認可外保育施設(1施設)の給食の質・量を確保するため、給食用食材費の高騰分を支援する。 ②認可外保育施設給食用食材費の高騰分(5%)	11,760	7,278	0	0	4,482	コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けた認可外保育施設(1施設)の給食の質・量を確保するため、給食用食材費の高騰分を支援しました。 ・対象:天使の隠れ家保育施設 リトルエンジェル ・補助金額:提供した給食1食当たり月額20円(認可外保育施設給食用食材費の高騰分(5%))	当該補助事業により支援した施設数1施設、園児数延べ37人	こども保育課

## 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	予算事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	対象事業費	コロナ交付金充当額			一般財源	主な実績等	実績指標	担当所属名
				コロナ交付金充当額	国庫補助額 (コロナ除く)	その他				
47	子ども食堂支援事業	①コロナ禍において物価の高騰影響を受けている子ども食堂を支援する。また、コロナ禍の影響を受ける子どもたちへ子ども食堂の周知を図るとともに、子ども食堂の活動自体の支援も図る。 ② 1. 子ども食堂への支援金(30千円・10千円/団体)、細菌検査費用 2. さくらあったか食堂ネットワークに対する支援金	747,411	708,532	0	0	38,879	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、原油価格や食材費の高騰に直面する子ども食堂等に「佐倉市子ども食堂活動継続支援金」を交付し、活動継続を支援しました。  ・支援対象: ①さくらあったか食堂ネットワーク ②さくらあったか食堂ネットワークに所属する子ども食堂等 ・支給金額: ①子ども食堂等の活動の連携を促進するための備品購入及び啓発活動に要する経費(上限23万円) ②子ども食堂等の活動に係る経費(1団体につき3万円 ただし、令和4年9月1日以降にさくらあったか食堂ネットワークに所属することとなった子ども食堂等にあつては、1団体につき1万円) ・腸管出血性大腸菌O157検査費用(検査対象人数に1,600円を乗じて得た額) ・腸内検査費用(赤痢菌・チフス菌・パラチフスA菌)(検査対象人数に600円を乗じて得た額) ・支援率75.0%(支援件数:12団体/対象件数:16団体)	当該補助事業により支援した子ども食堂等の数 12団体	こども政策課
48	子育て世帯生活支援特別給付金支給事業(市独自給付分)	①新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯に対し生活の支援を行う。 ②国の「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」の対象外で、ひとり親世帯以外の住民税均等割のみ課税(所得割のみ非課税)世帯等に対して50千円を支給。	16,955,408	10,438,431	0	0	6,516,977	国の給付金の対象とならない低所得の子育て世帯に対し、生活の支援を行う観点から、対象児童1人につき5万円の特別給付金を支給しました。 ・対象者:令和4年度分住民税均等割のみ課税の子育て世帯(ひとり親世帯以外)で、令和4年3月31日時点で18歳未満(障害児については20歳未満)の児童を養育する者 ・対象世帯数:165世帯 ・支給対象児童数:334人	当該補助事業により支援した子育て世帯の子どもの数 334人分	こども家庭課
49	障害福祉施設等物価高騰対策支援金支給事業	①コロナ禍において物価高騰の影響を受ける障害福祉施設等に対し、支援金を支給することにより、障害福祉サービス等の継続的かつ安定的な提供を図る。 ②障害福祉施設等の定員規模に応じた物価高騰対策支援金	16,624,000	15,739,003	0	0	884,997	物価高騰の影響を受ける障害福祉施設等に物価高騰対策の支援金を支給することで、施設の安定運営と障害福祉サービスの安定確保を図りました。 ・支援金支給施設61施設(入所系19、通所系42)	当該補助事業により支援した障害福祉施設等 61施設	障害福祉課
50	介護施設等物価高騰対策支援金支給事業	①コロナ禍において物価高騰の影響を受ける介護施設等に対し、支援金を支給することにより、介護サービス等の継続的かつ安定的な提供を図る。 ②介護施設・事業所の定員規模に応じた物価高騰対策支援金	60,287,714	57,078,231	0	0	3,209,483	物価高騰の影響を受ける介護施設等に、物価高騰対策の支援金を支給することで、施設の安定運営と介護サービスの安定確保を図りました。 ・入所系施設 33施設 ・通所系施設 51施設	当該補助事業により支援した介護施設等 84施設	介護保険課
51	産後ケア事業者物価高騰対策支援金支給事業	①コロナ禍・物価高騰の影響を受ける産後ケア事業者を支援し、安定的な産後ケア事業を確保する。 ②産後ケア事業者のサービス提供回数等に応じた物価高騰対策支援金	81,000	76,688	0	0	4,312	物価高騰の影響を受ける産後ケア事業者に、物価高騰対策の支援金を支給することで、安定的な産後ケアの確保を支援しました。 ・支援対象:令和4年度佐倉市産後ケア事業業務委託により産後ケアの実績があつた事業者(訪問型については従事者) ・支給金額:提供回数に応じて、訪問型は2団体の従事者7人に対して上限2,000円、宿泊型・日帰り型は4施設に上限54,000円 ・支援率100%(支援金給付件数/対象件数)	産後ケア従事者・事業者に対する支援率 100%	母子保健課
52	肥料価格高騰緊急対策事業	①新型コロナウイルス感染症に伴う物価高騰により、影響を受けた市内農業者を支援し、経済的負担の軽減を図る。 ②新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、肥料価格の高騰対策として、物価高騰相当分を支援する。	21,318,000	20,209,079	0	0	1,108,921	新型コロナウイルス感染症に伴う物価高騰により、影響を受けた市内農業者に対し、肥料価格高騰相当額の補助を行いました。 ・支援農家数 370件	当該補助事業により支援した農業者数 370件	農政課

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	予算事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	対象事業費	コロナ交付金充当額			一般財源	主な実績等	実績指標	担当所属名
				コロナ交付金充当額	国庫補助額 (コロナ除く)	その他				
53	市内中小店舗キャッシュレス推進応援事業	①消費を喚起し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内中小企業の経営を支援するとともに、キャッシュレス決済を普及させ、非接触型の「新しい生活様式」への対応促進を図る。また、ポイント還元により、コロナ禍における物価高騰等に直面している市民の生活支援を図る。 ②キャッシュレス決済をしたときのポイント還元費及びキャッシュレス事業者とりまとめや事業の周知・広告に係る事務局経費	153,648,120	145,590,299	0	0	8,057,821	キャッシュレス事業者と連携し、ポイント付与キャンペーン(30%)を開催し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内中小店舗の売り上げ増加と、物価高騰等に直面している市民の消費の下支えを図ることができました。 ・実施期間 令和4年11月1日～12月28日 ・参加店舗数 750店 ・ポイント還元総額 132,995,370円	キャッシュレスキャンペーン参加店舗の満足度 87%	商工振興課
54	住民税均等割のみ課税世帯への応援金給付事業	①住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給対象外世帯で、コロナ禍での原油価格・物価高騰の影響を受けて生活が困窮している世帯に対し、市独自の応援金による支援を行うことで、負担の軽減を図る。 ②令和4年度住民税均等割のみ課税の世帯に対する給付に要する経費(事業費及び事務費)	241,282,196	149,330,006	0	0	91,952,190	臨時特別給付金の支給対象外であるが対象世帯と同様にコロナ禍での原油価格・物価高騰の影響で生活が困窮している世帯に対し、市独自の「応援金」による支援を行い、負担の軽減を図りました。 ・支給対象: 令和4年度住民税均等割のみ課税世帯 ・支給金額: 1世帯につき10万円 ・支給件数: 2,282世帯 ・支給率: 97.52%(支給実績2,282世帯/支給要件確認書発送実績2,340世帯)	当該事業により応援金を支給した生活困窮世帯の割合 確認書発送件数の97.52%(申請書分1世帯を含む)	社会福祉課
			1,416,322,402	1,077,630,000	52,545,000	17,645,000	268,502,402			